様式第１号（第８条、第９条関係）

受付 第 号 30.7.-9 甲賀環境事務所

事業者行動計画書（変更計画書）

平成30年7月9日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所　滋賀県湖南市石部口二丁目７番33号

氏名　喜楽鉱業株式会社　代表取締役　小宮山　茂幸

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例〔第20条第３項・第20条第４項 ~~第22条第１項・第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~〕の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	喜楽鉱業株式会社　代表取締役　小宮山　茂幸
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県湖南市石部口二丁目７番33号

1　事業所の概要

事業所の名称	喜楽鉱業株式会社　本社工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市石部口二丁目７番33号					
主たる事業	細分類番号	8	8	2	2	産業廃棄物処分業
該当する事業者の要件	□　原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	■　従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　任意提出事業者					

2　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

標準様式第１号

（第１面）

１　計画期間

計画期間	平成　30　年度～　平成　35　年度

２　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち喜楽鉱業株式会社は、社是・社訓をもって地球環境への影響を尊重した環境管理活動を展開し、環境に配慮した事業活動と地球環境保全の両立を図ります。

油系廃棄物の無害化、有効利用の技術開発、その他の関連業務を通じて世を益し続ける為の基本理念を通じてマネジメント活動を行います。

１、　事業活動についてアセスメントを行い技術的、経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を設定し環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。

２、　環境関連の法規・条例・協定及びその他の要求事項を尊守すると共に、自主基準を制定し環境防止等を図ります。

３、　環境管理活動を継続して推進致します。

４、　環境教育や社内活動を実施して、全従業員への環境方針の理解と環境情報の周知徹底を行います。

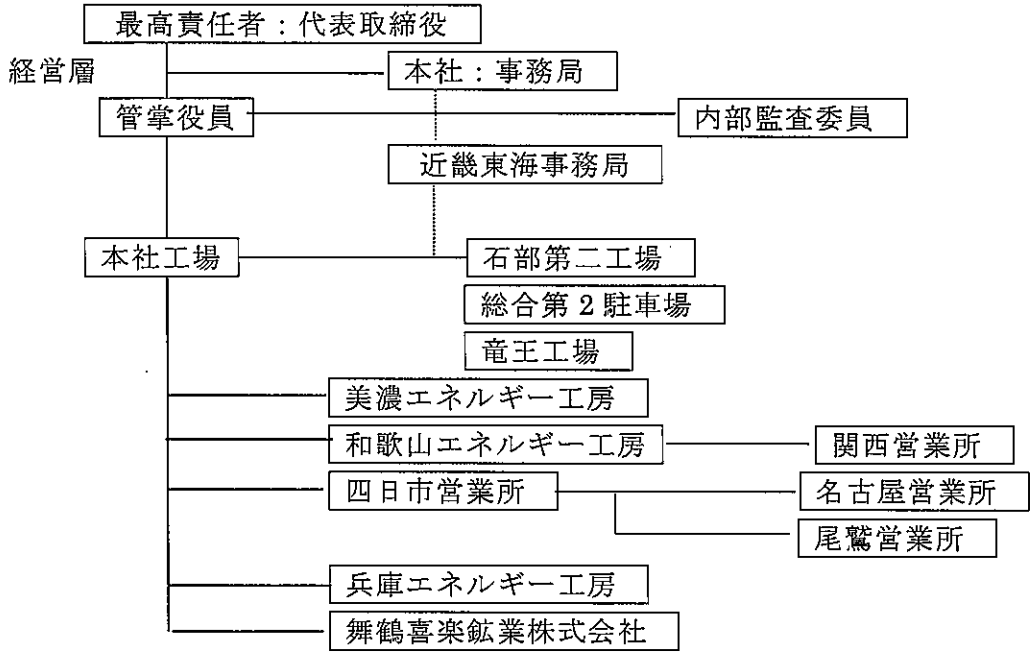
５、　環境方針は、要求に応じて社外に公表致します。

３　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

○責任者

弊社の EMS（環境マネジメントシステム）準ずる。

環境管理責任者



備考　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

４　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

省エネルギー対策として弊社として平成 13 年より計画的に取り組みを始めています。

- コンプレッサーの合理化と省エネタイプの入れ替え
- 工場内の電灯を LED 化
- 照明設備の使用していない区画の消灯
- 蒸気ラインの見直しによるボイラーによる使用燃料削減
- 各種設備の見直し及び不要設備の撤去

5　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	照明設備のLED化の実施。事務所内の蛍光灯については、LED化ができたので工場内の照明についても実施をする。	平成30年度～平成35年度
2	設備導入対策	照明設備の自動化。人感センサー、レイライト、タイマースイッチなどを活用して消し忘れなどをなくして省エネを行う。	平成30年度～平成35年度
3	運用対策	電気使用実績を確認して使用時間及び負荷時間における原因追求、対策実施を行い、省エネを行う。	平成30年度～平成35年度
4			
5			
6			

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	エネルギー起源CO2 非エネルギー起源CO2	廃油リサイクルの促進及びリサイクル技術の向上または廃プラスチック類のリサイクル	平成30年度～平成35年度
2			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

当社は、油系産業廃棄物の無害化、リサイクルを生業としており、事業の拡大発展が地球環境負荷の軽減に貢献しています。従って、事業の継続が何よりも大切であり、大気環境に負荷を及ぼすと考えられる。当社工場にあたっては最新の設備導入（改修を含む）によりISO14001を継続して不可軽減を管理実践する。

目標として前年の電気使用量（稼働率）に対して使用量が上回らないこととします。

６　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

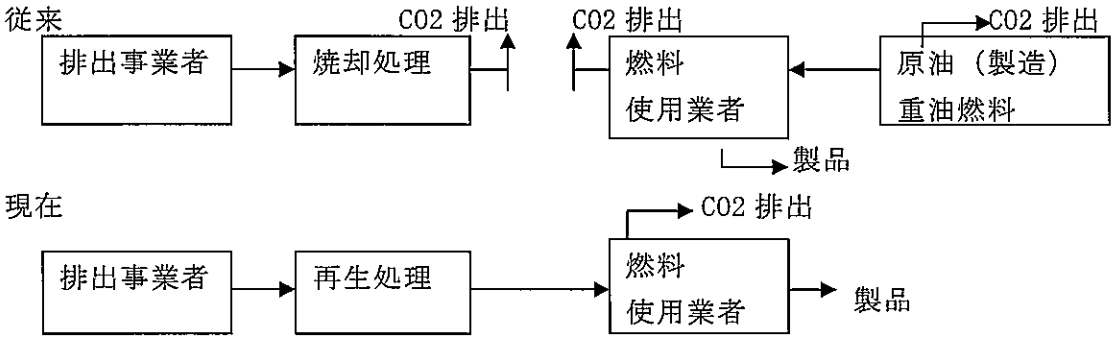
（1）取組の内容等

廃油のリサイクル

当社においては、廃油の回収を行ない、再生することで再生燃料（重油相当）として販売している。

廃油リサイクルを行うことで従来焼却処理されていたものを重油同等品として販売することで化石燃料の使用量を抑制することができ温室効果ガスの削減することができる。

本計画期間において廃油リサイクルシステムを通じて低炭素社会づくりを推進していきます。



（2）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標　　当工場での廃油の再生（リサイクル）について安定供給することで
お客様に安心して計画期間に使用して頂くことで温室ガスとなるCO2排出
削減に貢献する。

考え方　再生重油をお客様が使用することで化石燃料の枯渇を防ぐとともに
焼却処理によるCO2発生量を抑制するものとした。
つまり、販売量×CO2排出係数により貢献量とした。

貢献量

再生重油の販売量×廃油のCO2排出係数（2.92）＝貢献量（温室ガス削減量）